

授業科目(ナンバリング)	就労支援サービス論(DB405)			担当教員	野田 健		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	4 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>「就労支援サービス論」は、人間尊重とホスピタリティの醸成を図ることを基軸に据え、下記の3点を授業のねらいとする。①相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解する。②就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解する。③就労支援分野との連携について理解する。</p> <p>なお、これらのねらいを達成していくため、この授業はアクティブ・ラーニング類型①⑥⑨に沿い、ポートフォリオを活用しながら、小テストやディスカッション等を行っていく。</p>							①⑥⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	就労支援サービスの仕組みについて、社会福祉士の役割に関連づけて説明することができる。				定期試験	60%	
情報収集、分析力	就労支援サービスに関する実践事例等の情報を収集することができ、またそれら情報をもとに実践を分析することができる。				小テスト 授業内課題	10% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	就労支援サービスに関する課題を、個人やグループで考察し、解決することができる。				授業態度 授業内課題	10% 10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験（60%）：筆記試験の形式にて行い、持ち込みは不可とする。出題形式は、概ね社会福祉士国家試験と同様とする。</p> <p>小テスト（10%）：4・7コマに復習を目的に行う。出題形式については、授業中に情報提供を行う。</p> <p>授業態度（10%）：普段の授業中の態度、授業内課題やグループディスカッションの取り組み具合をもって評価する。</p> <p>授業内課題（20%）：随時、ポートフォリオや配布資料を基に実施する。形式等については、授業中に情報提供を行う。</p> <p>フィードバック：小テストや授業内課題は、授業中に評価・解説する方法を用いてフィードバックしていく。</p>							
授業の概要							
<p>現代社会における「労働」の位置づけを考えると、最も支援すべき項目の1つであるといえる。この授業では、主に障害者支援と生活困窮者等支援の2点の各種制度や各専門職について学修していくが、それだけにとどまらず、日本全体の状況や実践事例を踏まえながら、働くことの意義とそれへの支援のあり様について探求していく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編（2017）『新・社会福祉士養成講座 18 就労支援サービス[第4版]』中央法規</p> <p>参考書：福祉小六法編集委員会編（2019）『福祉小六法』みらい（法律を適時確認するために活用）</p> <p>指定図書：浦河べてるの家（2007）『べてるの家の非援助論』医学書院</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>適宜、実際の事例、新聞記事、DVD映像、社会福祉士国家試験問題（過去問題）などを通して授業を進めていくので、教科書で学修した内容をさらに深めて理解してもらいたい。</p> <p>講義は教科書の朗読を指名して行うことがあるため、読めない漢字にはふりがなをつけておくなど予習は必ず行うこと。大学での講義であるので、大切なものは自分で判断して、教科書に記載している内容も含めてノートに書く（メモを取る）習慣を身につけること。復習としては、知識の定着を兼ねてノート整理に努めること。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 雇用・就労の動向と施策	働くことの意味を学ぶ。また、現在の雇用・就労の動向と施策の概要を学ぶ。	予習：序章, 1 章を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
2	障害者と就労支援①	障害者の就労の現状、障害者福祉施策における就労支援を学ぶ。	予習：2 章 1, 2 節を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
3	障害者と就労支援②	障害者雇用施策における就労支援、特別支援学校における就労支援を学ぶ。	予習：2 章 3, 4 節を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
4	障害者と就労支援③	障害者就労に関する民間の取り組み、諸外国の取り組みを学ぶ。	予習：2 章 5, 6 節を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
5	低所得者と就労支援①	低所得者等（生活保護受給世帯、母子世帯、ホームレス等）の就労の現状を学ぶ。	予習：3 章 1 節を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
6	低所得者と就労支援②	低所得者等（生活保護受給世帯、母子世帯、ホームレス等）にかかる就労支援を学ぶ。	予習：3 章 2 節を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
7	専門職の役割と実際	様々な分野の就労支援における専門職の役割について学ぶ。	予習：4 章を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
8	就労支援の連携と実際	就労支援における連携の過程、意義について、事例を踏まえながら学ぶ。	予習：5 章を読む。 復習：知識を定着させる。 (ノート整理)
9	定期試験		